## イベント情報カレンダー

### 2月

●1/23（木）～2/6（木）
館内整備工事に伴う長期休館

●2/9（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

●2/15（土）
木工ワークショップ（木工舎つきのわ 岡本雄）

### 3月

●3/1（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

●3/21（土）
木工ワークショップ（fuuukei 佐々木貴充）

### 4月

●4/5（日）
特別ワークショップ（岩城少年自然の家）

◎4 月下旬に敷地内で多肉植物の販売やワークショップのイベントを開催予定です。

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

**TOY MUSEUM GROUP**

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」が全国に広がっています。
鳥海山 木のおもちゃ美術館は全国で 4 館目としてオープンしました。今後も全国で設立が検討されています。

**東京おもちゃ美術館**
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内
http://goodtoy.org/ttm/

**やんばる森のおもちゃ美術館**
〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名 1094-1
http://www.kunigami-forest-park.org/

**長門おもちゃ美術館**
〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1
https://nagato-toymuseum.com/

## 「一口館長」募集のご案内

**館内にお名前が残ります**

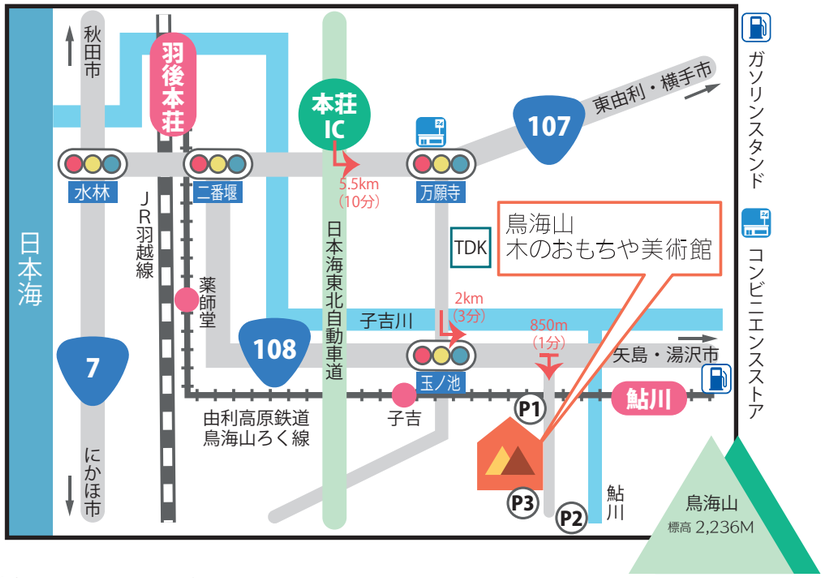
おもちゃと遊びはもちろん、由利本荘市の魅力を伝え、また多世代交流の架け橋となる活動を応援・支援し、「一口館長」となっていただける方を募集いたします。

一口館長のもとには、鳥海山をモチーフにした積み木が届き、館内にはお名前入りのフレームが飾られます。

そのほか金額に応じた返礼品がございます。

由利本荘市産 木のおもちゃのイメージ

**詳しくはホームページで！**





鳥海山 木のおもちや美術館
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校
URL http://chokaisan-wtm.jp
鳥海山木のおもちゃ美術館



発 行：特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1
Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079
www.yurihonjo-mokuiku.jp info@yurihonjo-mokuiku.jp
発行日：2020年1月25日





鳥海山
木のおもちや美術館
CHOKAISAN WOODEN TOY MUSEUM


# ゆりほんじょう木育通信


2020年 冬号 Vol.10

TOPICS 長い秋田の冬を楽しく過ごす

## 秋田の冬は外で遊ぶ、楽しむ

今年は全国的な暖冬となっており、秋田も例外ではありません。１月中旬時点で、鳥海山木のおもちゃ美術館のある由利本荘市町村の積雪はゼロ。このような冬はなかなか記憶にありません。

長くどんよりした秋田の冬ですが、冬だからこその催しや小正月行事が盛りだくさん。有名どころでは男鹿市の「なまはげ柴灯（せど）まつり（2/7.8.9）、横手市の「かまくら（2/15.16）」、大館市の「アメッコ市（2/8.9）」、仙北市の「上桧木内（かみひのきない）の紙風船上げ」、にかほ市の「掛魚（かけよ）まつり（2/4）」などなど。その他にも 2 月の秋田県内ではたくさんの催し・行事があります。おもちゃ美術館から車で 10 分ほどの西滝沢水辺プラザでも 2 月 2 日（日）は恒例の雪まつりが開催されます。また、由利本荘市内には、雪質が自慢の「鳥海高原矢島スキー場」、気軽にスノーモービルが楽しめる「鳥海高原南由利原スノーモビルランド」など冬のアクティビティーを楽しめる施設が充実。そしてなんと言っても日本酒造りが盛んな秋田では、多くの蔵でこの時期に酒蔵開放が行われ、新酒を目当てに毎年たくさんの方が訪れます。

見て遊んで楽しんで疲れた体は、各地にある温泉につかって癒やし、美味しいものを食べて飲んで暖まる。冬だからこその秋田の楽しみ方、過ごし方が見つかるはずです。

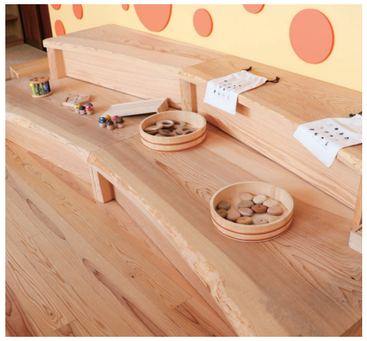
なまはげが松明を掲げて山を降りる姿は圧巻

鳥海高原矢島スキー場（Photo by Atsushi Ogawa）

## FEATURE あかちゃんも安心して遊べる「はいはいひろば」

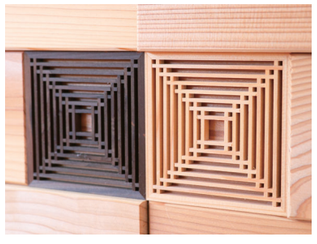
もともと理科室だった教室が生まれ変わった「はいはいひろば」は、『３歳未満』という年齢制限を設けているのが特徴です。床、壁、さじきにはやわらかくぬくもりのある秋田杉をふんだんに使用し、小さなお子様も安心して遊ぶことができます。乳児と幼児では遊び方も力も異なるため、同じ部屋で一緒に遊ぶと小さい子がびっくりしてしまうことがありますが、年齢が近い子同士のため、同伴の保護者にとっても安心して一緒に遊び、見守ることができます。

また、部屋の中には地元の木工職人が作ったさじき、せきてい、とんねる、とびいしなど、大人が見ても触れても楽しい遊具が並んでいます。さらに、部屋中央には存在感たっぷりの樹齢約 300 年、重さ約 500kg の「けやきのこぶ」が鎮座しています。木のぬくもりに囲まれて、小さなお子様と一緒にゆったりと過ごしていただけるスペースです。



### PickUp!
### ちりばめられた伝統の技と若手作家の作品

齊藤建具製作所、長谷川木工所、鳥海ものつくりの会、木工舎つきのわ等の地元由利本荘市の木工職人が遊具や什器の製作にあたりました。
壁やボックスの中のオブジェとして本荘組子が使われていたり、木肌のぬくもりあふれるランプシェードがあったり。ベテランと若手の技が融合しているのも見どころです。


壁には組子細工が埋め込まれている

ぬくもりある木のランプシェード

## COLUMN 鳥海山の山体崩壊と埋れ木

紀元前４６６年、およそ２５００年前の縄文時代におこった鳥海山の「山体崩壊」で、山の北西部（今のにかほ市側）が崩壊したことにより、その岩なだれは日本海まで達しました。「埋れ木」とはこの「山体崩壊」の岩なだれの下敷きになり、地中に埋もれた樹木のことです。にかほ市釜ヶ台地域では江戸時代から埋もれ木を発掘していたことがわかっており、「神代木」として珍重されてきました。また近年、日本海東北自動車道の象潟ＩＣの工事現場から、ケヤキ、クリ、コナラ類など落葉広葉樹を主とした大量の埋れ木が出土しました。地中に埋もれていた「埋れ木」は当時の出来事を現代に伝える、まさにタイムカプセルです。分析することで、山体崩壊当時（縄文時代）のこの地の森林分布や、岩なだれの規模や状況を知ることができます。

「埋れ木」は長い間地中に埋もれていたため、圧力により変成し、半ば炭化した状態で、黒く固いという特徴があり、貴重な資料であるとともに伝統工芸品の材料としても珍重されてきました。この地域で発展した組子細工などの木工芸品でも黒のアクセントとして使われいます。「埋れ木」が伝えるドラマを知ることは、その見た目の美しさだけではなく、そこにある土地の記憶を感じることに繋がります。おもちゃ美術館館内にも随所で「埋れ木」が使用されていますので、その魅力に触れてみて下さい。

埋れ木の特色を活かした木工芸品

美しい埋れ木の木目

## INTERVIEW 森林と結びついた木育の場へ

正木 みえ子（NPO 法人 由利本荘木育推進協会　副理事長）

**退職後も保健師・認知症ケア専門士の資格を活かして活躍されている正木みえ子さんは、2019 年 5 月から NPO 法人 由利本荘木育推進協会の副理事長を努めていらっしゃいます。また同時に、おもちゃ学芸員として活動をしています。**

Q. おもちゃ学芸員になろうと思ったきっかけは？

正木みえ子さん（以下、正木）　オープン前年の秋に、由利地域の行政協力員やまちづくり委員が招集され、市の幹部、美術館担当の方々から説明を受けました。同じ地域住民として、もっと積極的に関わりを持てればと思い、2017 年の第２期おもちゃ学芸員養成講座を受講しました。

Q. 副理事長という立場になって改めて感じた点は？

正木　普段関わる事のないスタッフの方々とも交流が持てるようになり、おもちゃ美術館を盛り上げようとする一生懸命さを感じています。遠方のお客さんから「遠いけど、私の近くにこのような施設がないので…」とよくお話しされます。ただ、最近市内や由利地域のお客様が少なくなっているようにも感じています。地域の皆さんからの一層のご理解とご協力をいただき、より身近な場として多くの世代の方々から楽しんでいただけるようＰＲの仕方を検討していきたいと思います。

Q. これからのおもちゃ美術館に期待することは？

正木　説明会の時に、おもちゃの提供だけでなく、もっと森林と結びついた「木育」の場であってほしいと要望しました。地球温暖化が危惧されるなか、森林の役割を再認識していくことが求められています。当法人で目指す木育の『環境を守る「木育」』『木の文化を伝える「木育」』を模索し、地元のグループ等と協力しながらすすめていければ、もっと広がりのある木育の場になるのではと期待しています。

正木 みえこ
特非）由利本荘木育推進協会　副理事長
おもちゃ学芸員
1953 年生まれ
秋田県 由利本荘市在住